

振興策の方向性

前回(7/19)の主な意見

次年度における市町村図書館等への振興策(案)

〔前回(7/19)提示〕

(1)市町村(教委、首長部局双方)に図書館の重要性、意義を理解してもらうための取組

(2)それぞれの市町村における図書館振興に向けたビジョン(目指す図書館像)づくりを支援する取組

(3)オーテピア高知図書館サービス計画の着実な実施

(4)集落活動センターや学校図書室の活用を促す取組

(5)中長期的な専門人材育成やボランティア育成を支援する取組

○県として全体的な施策の方針はどうか。モデルは必要であるが、支援が集中してしまうと地域格差が広がる面もある。

○図書館でお金や人が足りないという現状は、予算を決める人たちが図書館をどれくらい求めているかによるのではないかな。

○図書館が地域の活性化につながることを各市町村が認識したうえで、図書館活動を進めることが発展につながる。

○図書館ができること、図書館を利用した活動というものを市町村の総合戦略のような全体的な計画に組み込み、期待できる効果を具体的に提案できれば市町村の活動も変わる。

○市町村の行政としては、図書活動についてどういう方向性で取り組んでいくのかビジョンを持たなければならない。

○市町村の特徴として人口動態・構成における長期の展望を把握し、移住者の獲得も取り入れたアイデアをいくつか考えておく必要がある。

○学校図書館は市町村によって充実度が違い、地域に広げると同時に、児童が読みたくなるような環境づくりを公共図書館と両輪で行う必要がある。

○多くの市町村で改築などの整備が進む中、予算確保やマンパワーから、ブランディング等の取組をやりたくてもできない市町村の現状が読み取れた。それに対する支援としてコンペ等できないか。

○人がよく集まる集落活動センターに地元の雑誌も含めた本を置くスペースがあるといい。

○いの町のバス巡回の取組は高知県の中山間地域をフォローアップする有効な手立てになる。



1. 全市町村に向けた支援

= 市町村における図書館の価値・施策の優先度を高める

① 首長部局、教育委員会の各層へのセミナーや講座、働きかけの実施

市町村の首長部局(地域振興や財政部局等)、市町村の教育委員会(教育長や図書館行政所管課等)の双方に対して、各層に応じたアプローチで図書館の有用性を周知する。

〔展開例〕

⇒ 首長部局に対して

- ・町づくりにおける図書館の重要性をテーマとしたセミナーの実施
- ・図書館を通じた地域振興の全国の成功事例の情報提供
- ・行政支援サービスやデータベースのほか、市町村図書館に対するレファレンス支援や物流サービスなど、オーテピア高知図書館の機能のさらなる周知を通じた図書館の有用性の理解促進

⇒ 教育委員会に対して

- ・市町村の総合戦略や教育大綱に基づく取組に図書館を位置づけることの働きかけ
- ・市町村図書館と学校図書館の連携をテーマにした講座の実施



② オーテピア高知図書館サービス計画にもとづく市町村立図書館等への支援

巡回訪問、物流サービスなど



2. 個別の市町村に向けた支援

= 他市町村のモデルとなり得る成功例をつくる

③ 図書館(室)の振興に取り組む市町村への財政支援の検討

(今後、令和2年度当初予算編成において検討)

地域の特性やニーズを踏まえ、読書・情報環境の充実に向けて図書館(室)の振興に取り組む市町村に対して、手上げ方式で支援する。

支援例)

- ・集落活動センターを物流サービスの拠点とするための支援
- ・県内図書館横断検索システムへの加入支援
- ・移動バスによる巡回図書館サービスの充実に向けた支援
- ・図書や読書に関するイベント等の開催の支援

④ 新たな整備計画が進んでいる図書館への支援

新しい図書館が円滑な運営や継続的なサービス展開が行えるよう、基本構想や整備計画策定への支援や、職員の育成や地域人材の活用等人的支援を実施。

支援例)

- ・市町村の総合戦略と連動した構想・計画策定への働きかけ
- ・県立図書館と市町村立図書館との人事交流の検討
- ・高校生や大学生のボランティア確保の支援